

星の夢百聞 第198号

発行日 2022年8月1日
発行 株式会社 おいらーく
札幌市東区東苗穂9条3丁目1-40
発行人 星野 二三江

あつまれ！

銭函ケアサポートセンター施設！

CoCo輝楽（高齢者住宅）



開所し、2年が過ぎ「満床めざして」が合言葉となり残り1室となりました。ALL銭函の力だと思っております。これからも地域に根ざした住宅として安心して暮らして頂けるよう寄り添ってまいりたいと思います。（金森 真希）

銭函デイトレセンター



地域の方々に支えて頂きながら銭函事業部協力しあい取り組んできた結果、3年目を迎える10月には増築リニューアルオープンをする事となりました。建物も大きくなり、新しいコンテンツも増えますが、今までと変わらず利用者様一人一人を大事に思い関わらせて頂きます。（高屋 利啓）

お散歩カフェ（地域サロン）

4月に惜しまれながら閉店し、現在は週1回デイトレセンターを間借りして細々と営業しているおさんぽカフェ。なんと新築オープンする事が決定しました。代表をはじめ副代表、部長、その他大勢の方のご理解とご支援、後押しがあったからこそと本当に感謝しております。カフェのお客様もとても喜んでいて、早くできないかなと毎週デイトレの窓から建設中の敷地を眺めています。またボランティアさんも新しいカフェにかける思いは人一倍。心強い戦力になるでしょう。これからも地域の憩いの場として認知していただけるよう頑張っていきます。また職員にとってもほっと一息つける場所として定着してほしいと思っています。皆さんのご来店を心よりお待ちしております。（菅原 智絵）



サポートユアライフ（訪問介護）



定期巡回枠が100%達成となり今後の展望としましては100%を維持して行く事と定期巡回、訪問介護の支援強化に努め職員一同、一致団結で職務に邁進、致します。（和田 舞）

銭函ケアプランセンター



銭函の景色が一気に変わろうとしています。デイトレセンター拡大と共に銭函ケアサポートセンターがさらに充実、居宅事務所も移転してパワーアップ！ケアマネジャーは地域のニーズをより早く把握し支援体制を整える役割です。ハード面の充実でケアマネそれぞれが今以上に地域の方の生活ニーズをとらえケアマネの役割を果たせるように一丸となって頑張っていきたいと思います。銭函においらーくがあつてよかったです、ここに相談すればなんとかなると思って頂けるよう頑張っていきます！（菅原 智絵）

銭函配食サービス



入居者20名前後でスタートしたココ輝楽は今や47名の満室まであと一步のところまで來ました。さらにこの10月にはデイトレの利用者も倍増の予定なので厨房はにわかに忙しくなります。入居者様・利用者様にご満足して頂けるよう、我々配食職員一丸となり美味しい食事を提供して参ります。お散歩カフェも生まれ変わることで、個人的にはしばらくお休みしている演奏会が開催できることを願っております。コロナ感染拡大が止まりませんが、皆さん感染対策を怠らず、希望をもっていきましょう！（蓮川 享士）



朝礼でのステキなお話 特集

輝楽の窓ふきボランティア！生徒さんに感謝

5月16日前中に近所の高等支援学校2年生の6名に先生2名が引率され、授業の一環として輝楽の窓ふきに来て下さいました。申込時も先生から「窓ふきをやらせて頂けないでしようか」とのお電話を頂き、昨今なかなか実習の場所が見当たらずとの事。必要なのは水少々使用させて頂きたいと。2階の窓も出来ますと話され、こちらとしては2階の窓までなんてこんないい話はありません。「是非、是非お願ひします!!」とお返事しました。

当日、五月晴れで掃除日和となり、生徒さん2グループにわかつて、素晴らしいチームプレーでの拭き掃除。



特に2階の窓を拭き取るには力と技術もあります。1階、2階から利用者さんもどんどん窓がきれいになつてくるのを見て、「私の部屋の窓もしてもらえるのかしら？」なんて発言が出る位でした。とても素直な生徒さん達に加え、先生も若くパワーを感じる方でした。お礼にお茶を1本ずつ差し上げましたが、今回だけと次回から頂けませんと話される始末。コロナがなれば中に入つて利用者様との交流も出来たのですが。2週連続で来て頂き、また、来年もう宜しくお願いします。と帰られました。こちらこそありがとうございました。（金森真希）

学校2年生の6名に先生2名が引率され、授業の一環として輝楽の窓ふきに来て下さいました。申込時も先生から「窓ふきをやらせて頂けないでしようか」とのお電話を頂き、昨今なかなか実習の場所が見当たらずとの事。必要なのは水少々使用させて頂きたいと。2階の窓も出来ますと話され、こちらとしては2階の窓までなんてこんないい話はありません。「是非、是非お願ひします!!」とお返事しました。

当日、五月晴れで掃除日和となり、生徒さん2グループにわかつて、素晴らしいチームプレーでの拭き掃除。

特に2階の窓を拭き取るには力と技

術もあります。1階、2階から利用

者さんもどんどん窓がきれいになつ

てくるのを見て、「私の部屋の窓も

してもらえるのかしら？」なんて発言

が出る位でした。とても素直な生徒

さん達に加え、先生も若くパワーを

感じます。お礼にお茶を1本ずつ差し上げましたが、今回だけと次回から頂けませんと話される始末。コロナがなれば中に入つて利用者様との交流も出来たのですが。2週連続で来て頂き、また、来年もう宜しくお願いします。と帰られました。こちらこそありがとうございました。（金森真希）

入居者様の嗜好



COCO元町式番館のある入居者様は入居前には独居で生活されており、嗜好品のタバコを吸っていました。しかし入居に伴いタバコが吸えなくなり、月に一度ご家族との受診の際に吸われていましたが、それも出来なくなってしまいまして…。

ご本人は「吸わなくてもなんともないよ」と話していましたが、日頃の会話からは吸いたい気持ちはあるようで、先日タバコの吸える喫茶店に行つきました。ご本人からは「これに懲りず、拒否を見られました。そんな中歩行訓練実施中にあら」「気分が乗らないから」と喜ばれていました。

歩行訓練の成果



てんやわんや北31条ではあります。がたいことに新規ご利用者様が増えております。その中でご家族様から歩行訓練をしつかりとしてほしいと、希望を頂いたご利用者様がいらっしゃいまして、デイを利用開始当初からマシンや歩行訓練を積極的にしていただいておりました。しかし、本人は全然乗りこロナ禍になり、それも出来なくなってしまいまして…。

ご本人は「吸わなくてもなんともないよ」と話していましたが、日頃の会話からは吸いたい気持ちはあるようで、先日タバコの吸える喫茶店に行つきました。ご本人からは「これに懲りず、拒否を見られました。そんな中歩行訓練実施中にあら」「気分が乗らないから」と喜ばれていました。

あなたいつも頑張っているわね。どんどん歩けるようになつていらじやないの。すごいわね。」と声を掛けてくださいました。するとご本人は「そうかい？」と喜ばれていました。

願いよ届け！七夕装飾



てんやわんや東苗穂では、ある利用者様からのご要望で、北海道では一ヶ月早い七夕を行いました。どんな感じの装飾にしたら良いか、展示場所などどこにしたら良いかなど、その方と一緒に考え、一緒に作りました。

その方は、天の川の織姫や彦星に詳しく、何度も脱線しながら、うんちくや何故二人は7月7日にしか会わないのかなど、教えてくれ、知らないスタッフ「へー！」を連発していました。

そうして、利用者様方に装飾を作つて頂いたり、短冊に願い事を書いて、貼つてもらい素敵な作品が出来上がりました。

ご自分の短冊を確認しに作品前行くと、ニヤニヤされてる方、参拝されている方、他の方の短冊をじっくり見てる方など…内容もご自分の事、家族の事、世界的な事、お金の事等様々

てんやわんや東苗穂では、ある利用者様からのご要望で、北海道では一ヶ月早い七夕を行いました。どんな感じの装飾にしたら良いか、展示場所などどこにしたら良いかなど、その方と一緒に考え、一緒に作りました。

その方は、天の川の織姫や彦星に詳しく、何度も脱線しながら、うんちくや何故二人は7月7日にしか会わないのかなど、教えてくれ、知らないスタッフ「へー！」を連発していました。

そうして、利用者様方に装飾を作つて頂いたり、短冊に願い事を書いて、貼つてもらい素敵な作品が出来上がりました。

ご自分の短冊を確認しに作品前行くと、ニヤニヤされてる方、参拝されている方、他の方の短冊をじっくり見てる方など…内容もご自分の事、家族の事、世界的な事、お金の事等様々

たくさんのが詰まつた短冊…その願いが叶うよ

う、お手伝いさせていただくのが、私たちスタッフの願いです。

（恵本英樹）

うらら伏古を選んでくださったご家族様から

先日のことですが、施設サービス計画書の見直しのため、ご家族様とお話を機会がありました。G.H.からの住み替えで、うらら伏古に入居してくださった入居者様です。G.H.の生活に心配なことがあつたようで、住み替えを考え、色々な施設を見学され、うらら伏古を選んでくださいました。

選んだ理由は、「施設の雰囲気が母に合つていそう」「昼食を見て、美味しそう」と思つたからだそうです。実際に入居され、良かつたと思うことを教えてくださいました。

看護師が体調のことで連絡をさせていただいた時に、「説明が分かりやすく、このように話してもらえるのであれば、家族としても分かりやすく、きっと母も体調のことを伝えられるだろうし、伝えられるように聞いてくれていると感じた」と教えてくださいました。普段は訪問診療ですが、必要な時に外来受診に繋げてもらえることも有難いとのことでした。

うらら伏古や同僚を褒めていただけることは、自分のこと以上に嬉しいものでした。入居者様やご家族様にとって安心の場所であり続けたいと思いました。

(小林まゆか)

選んでくださりありがとうございます!

（本間圭介）

うれしいお電話に励まされています!

利用終了後もつづく縁～奥様からうれしいお電話～

以前せんりでお看取りをさせて頂いた方の奥様から、約一年ぶりに電話がありました。「ご主人が息を引き取られた当日、明け方の4時頃に急変され奥様に電話をしたのですが、その時間が思い出され、今でもその時間がなると目が覚めてしまふんだ」という話から始まり、今になつて苦情の電話だらうかと緊張しながら話を聞いていました。

「でもね、せんりにいれてもらつて本当に良かったの。まわりにもそれを話していたんだけど、今入院している知人が施設入所を考えていて、せんりのこと聞いてくれないかと言われたから連絡したの。あなたがこれからもせんりにいるなら、いずれ私もお世話になりたいし」

せんりとしてやるべきことをやりきりましたが、コロナ禍のお看取りで、満足のいく対応が出来ていたのかという思いがありましたし、何より利用終了で年後には、トラックをスムーズに歩けるようになり、一年後には、杖が無くても歩けるようになりました。そして一番は送迎です。錢函の土地勘が全くない自分には不安しかなく、でもその中でデイサービスの職員さんが、仕事終わった後に十河さん時間ある時に付き合いますよと行つてくださり、本当に心強かったです。

10月には増築して新たなデイレセントが始まります。利用者さんも職員も今より増える予定なので、職員同士色々意見を出し合つて、利用者様が錢函デイサービスに来て良かった、楽しいと思って頂けるように頑張ります。利用終了で、本当にうれしい気持ちになりました。

（十河清恵）

新たな挑戦

7月11日からデイサービス 東苗穂から錢函デイトレセンターへ異動する事になり、大好きな利用者さんや職員と離れてしまう事がとても寂しくもあり不安で一杯でした。でもそれと同時にまた新たな利用者さんとの出会いも楽しみだし、デイトレセントーの職員さん達から学ぶ事が沢山待つての期待もありました。

実際に異動してみて今までは大浴で入浴介助していたのが個浴対応に変わり、介護職の経験は長いですが介助の仕方など新たに学ぶ機会がありました。そして一番は送迎です。錢函の土地勘が全くない自分には不安しかなく、でもその中でデイサービスの職員さんが、仕事終わった後に十河さん時間ある時に付き合いますよと行つてくださり、本当に心強かったです。

10月には増築して新たなデイレセントが始まります。利用者さんも職員も今より増える予定なので、職員同士色々意見を出し合つて、利用者様が錢函デイサービスに来て良かった、楽しいと思って頂けるように頑張ります。利用終了で、本当にうれしい気持ちになりました。

よく、エルパサの利用者さんが言つてくださるのは、「こここのスタッフさん達は、元気がない方だったのですが、3ヶ月後には、笑顔も戻り、明るく会話も出来るようになりました。でも、その方も利用当時は無口であります。元気がない方だったのですが、3ヶ月後には、笑顔も戻り、明るく会話も出来る方もいらっしゃいました。

また、ある利用者さんは、「あなたの元気な声を聞きたくて来てるんだよ、あなたの姿を見るだけで元気をもらえるの」と、こんな自分にそんな言葉を掛けてくれる方もいらっしゃいました。

でも、その方も利用当時は無口であります。元気がない方だったのですが、3ヶ月後には、笑顔も戻り、明るく会話も出来るようになりました。まだ全ての利用者さんではないですが、一人でも多くの利用者さんに、エルパサが愛されるように、日々、精進して参りたいと思います。（東 拓矢）

利用者様方に愛されるエルパサを目指して

介護職に関しては、全くの未経験な自分でしたが、そんな私もおいらーくに勤めて、早二年が経ちました。ここ最近、コロナ禍で、エルパサの利用者さんもあまり外出ができる日々が続いており、その唯一の外出がない日々が続いている。でもそんな中、嬉しいことがあります。

ここを利用して二年近くになるある利用者さん達の話なんですが、その方は、ここに来る前まで、壁伝い、若しくは杖歩行じゃないと歩けない方だったのですが、エルパサを知り、利用し始めてから、半年ぐらいで杖が無くても歩けるようになり、一年後には、トラックをスムーズに歩けるようまで成長していました。その利用者さんは、「本当にエルパサに来て良かった、スタッフの皆さんも皆優しいし、何より雾ヶ谷が良いのよね」「今はエルパサにくることが生きがいなの（笑）」と照れ笑いしながら仰っていました。

また、ある利用者さんは、「私に『あなたの元気な声を聞きたくて来てるんだよ、あなたの姿を見るだけで元気をもらえるの』と、こんな自分にそんな言葉を掛けてくれる方もいらっしゃいました。

でも、その方も利用当時は無口であります。元気がない方だったのですが、3ヶ月後には、笑顔も戻り、明るく会話も出来るようになりました。まだ全ての利用者さんではないですが、一人でも多くの利用者さんに、エルパサが愛されるように、日々、精進して参りたいと思います。（東 拓矢）

夢には大きな意味がある！？初夢のお話

正夢・逆夢・予知夢・忠告夢等夢にも色々あります。令和2年12月31日、この年最後に私が見た夢は、デイトレ高屋所長が泣いてる夢でした。令和3年元旦自覚した私は「どうして高屋さんが泣いてる？」と不思議に思いましたが、月日が経ちその意味を知るのでした。（何があったのかは臥せますが）

そして令和4年今年の初夢は仕事の夢でした。夢の中でデイサービスの大きな集会の様な催しがあり、その会場に利用者様を誘導するお手伝いをしていました。開催にあたって、柴田統括がご挨拶をし私を含めた10名程が壇上にて「今日のお手伝いをしてくれた職員の仲間達です。では、一言ずつお話して下さい。」と左端にいた人にマイクが渡されました。私以外の方々は事前に挨拶文の原稿を用意しており私だけが持つていいのです。「え？ 何で私だけ原稿がないの？ ど、どうしよう」とオロオロしているうちに私の番になりましたが…。

私は一步後ずさり「原稿がないので、私はいいです。次の方どうぞ。」と統括が差し出しますマイクを受け取らなかつたのです。その時！ 柴田統括がとても怖い面持ちで「ちっ！」と舌打ちをなさつたのです。（泣）

目覚めた私は自分に足りない物を気づかせてくれた夢だと思いました。原稿がなくたつて自分の声で発言が出来る様になりました。夢の中で柴田統括がニコニコと次の人にもマイクを渡していくら氣が付かなかつただろう。ありがとうござります！ 柴田統括。今度御会い出来た時には「生舌打ち」で私に喝を入れてください！

（石川秀美）

夢の中の
柴田統括に感謝！



えくば東雁来のさくらんぼ



（石田裕介）

先日、厨房の中島さん、木下さん、ケアマネ外川さんの3人でサクランボ狩りをして利用者様の口へ。みんな美味しいねと笑顔になつてました。

木下さん、ケアマネ外川さんは利用者様のNさんは窓からその様子を見てたそうですね。でも上の方は何個か残つてるね」と話すと、「高いところのあれは鳥さんにあげよう」と優しいお言葉に私がほっこり癒されました。

そんな中、ケアマネにピザ窯の宣伝をかね、焼きたてを実績と共に持つて回った時の事です。

あるケアマネさんからピザのことを色々聞かれ悩みを話すと「家の旦那建設業やつているから廃材いくらでも出るから提供できるよ。旦那に言つておくね」と住所と会社の名前を書いたメモを渡してくださいました。とてもありがたく嬉しい気持ちになりました。

人の縁つてどこでどうつながるか本当にわかりませんね。色々な事がデジタル化していく世の中、そんな中でも最後は人と人との関わりが大切なのはと改めて感じられました。

やっぱり大切！人とのつながり。

窓で焼いたピザは
美味しいと大好評！



ピザは利用者さんからとても好評です。てんやのピザを食べてみたい方はご一報下を！（浅田由美子）

利用者様・ご家族に
喜んでもらいたい！



職員のがんばりが利用者様の気持ちを動かす！

（高堂和美）

てんやわんやでは外にピザ窯を作り、天気にもよりますがほぼ毎日ピザを焼いています。ですがまき、炭本は何年か前の台風で傾いたにも関わらず今年も頑張つて赤くかわいい実をつけてくれました。

本には、サクランボの木があります。でも1本は何らかの不幸でお亡くなりになりました。が、残つた1本は何年か前の台風で傾いたにも関わらず今年も頑張つて、今まですぐ2階へ案内し、予定を立てて入浴へというルーティーンでしたが、「では熱中症予防の為にも、また飲ませんか？」と到着してすぐに、1階奥にあるサークルへ案内いたしました。飲みながら、すぐ近くにあるレッドコードに興味を持たれ、効果などを説明し「時間があればやつてみませんか？」と聞いたところ、「私が出来るのであればやつてみたい」と普段は、リウマチ等の疾患もあり、運動に対してもありがたく嬉しい気持ちになりました。

極的なYさんの意志が動いたのでしょ。効果を自ら実感し「リウマチで可動域の狭い所が広くなつた」と喜んで頂き、今ではレッドコードもYさんのルートイーンに仲間入りです。別の利用者Sさんも車椅子で片麻痹があるのですが、職員が様々な活動を勧めることで、レッドコードや料理教室等活動の幅が広がり、「前のデイでは座つている事が多かつたけど、本町に来てからは楽しみが増え本当に良かつた」と喜ばれております。

ご本人だけではなく、ご家族やケアマネさんからも、本町の頑張りが評価されております。これからも、更に頑張ろうという気持ちになります。

まさかのコロナ陽性になって…ドタバタ？貴重な体験

終わってみると
いい経験に！？



グープホーム夢は5月19日、1ユニットでコロナのクラスターが発生しました。職員はみな症状がなく、入居者様が体調不良になり、救急搬送。搬送先の病院でPCRを受けコロナが発覚。「なぜ」「誰も職員で体調不良がないのに…誰かがウイルスを運んでる…」。

ホームに戻り、本部の助けを借り、ご家族様や保健所とのやり取り…ユニット全員濃厚接触…いつもは穏やかなグープホームもこの日を境に全くの別世界に変わりました。そんな中、3日目頃より自分に変化が：「喉が痛い…まさか…」…罹患していました。家には高校生2人と基礎疾患のある母。家にはいられないと思い、発症後すぐに荷物を積み込み家を後に…。保健所からの連絡もなく仕方なく1日目は車中泊、2日目は身体を伸ばしたくキャンプ場へ逃げました。自分は陽性者だけど、アルコールをふりかけ、グローブをし、「絶対に広めない」と決め、一人で誰とも話さずにいました。熱があり、咳、咽頭痛もあり「ああこのままキャンプ場で冷たくなつて発見されるのかな」と一人が心細く、酒と解熱剤で気を紛らわせていました。そんな中、代表と副代表から心配の電話…誰かの声を聞くだけでこんなに頑張れるんだと気持ちが前向きに。翌日無事に保健所からの電話を受け、療養先へ。コロナになつて周囲の方に心配、ご迷惑を沢山掛けたけれど、感染拡大もなくいい経験でした。

（中島絢子）
はりません…が、今振り返ると楽しかったです♪

けして、遊んでいたわけではありません……グープホーム夢は5月19日、1ユニットでコロナのクラスターが発生しました。職員はみな症状がなく、入居者様が体調不良になり、救急搬送。搬送先の病院でPCRを受けコロナが発覚。「なぜ」「誰も職員で体調不良がないのに…誰かがウイルスを運んでる…」。

ホームに戻り、本部の助けを借り、ご家族様や保健所とのやり取り…ユニット全員濃厚接触…いつもは穏やかなグープホームもこの日を境に全くの別世界に変わりました。そんな中、3日目頃より自分に変化が：「喉が痛い…まさか…」…罹患していました。家には高校生2人と基礎疾患のある母。家にはいられないと思い、発症後すぐに荷物を積み込み家を後に…。保健所からの連絡もなく仕方なく1日目は車中泊、2日目は身体を伸ばしたくキャンプ場へ逃げました。自分は陽性者だけど、アルコールをふりかけ、グローブをし、「絶対に広めない」と決め、一人で誰とも話さずにいました。熱があり、咳、咽頭痛もあり「ああこのままキャンプ場で冷たくなつて発見されるのかな」と一人が心細く、酒と解熱剤で気を紛らわせていました。そんな中、代表と副代表から心配の電話…誰かの声を聞くだけでこんなに頑張れるんだと気持ちが前向きに。翌日無事に保健所からの電話を受け、療養先へ。コロナになつて周囲の方に心配、ご迷惑を沢山掛けたけれど、感染拡大もなくいい経験でした。

（中島絢子）
はりません…が、今振り返ると楽しかったです♪

夏祭り開催でうれしいお言葉。生きがいを生むサービスを！

生きがいサロン東雁来
夏祭り大成功！



生きがいサロン東雁来では、夏祭りを開催しました。夏らしい楽しい事がしたいという利用者さんの言葉から企画しました。

カーリング・射的・スマートボーラーを法被を着て行い、お昼には出店方式でたこやき・焼きそば・ラムネ等を出し、「お祭りに来てるみたい！」と行って頂けました♪

音楽も合間合間に盆踊りをかけると、口ずさんだり、踊つたりと大盛り上がりました。何より利用者さんに楽しんで頂くために色々考えた職員皆が久しぶりの大きな行事を楽しんでおり、とても笑顔の多い一日になりました。

そして利用者さんに帰り際に言われた言葉が心に響きました。

「すごく楽しかった！来年も参加するために、1年頑張らないといけないね！」と仰ってくださいました。デイサービス名に恥じない生きがいを、利用者さんに与えられているのかなと実感でき、来年のモチベーションに繋がりました。また、職員皆で生きがいを考えられるような行事を考えていきたと思います。（大江恵久美）

（石谷烈子・新谷真奈美）

た。

風は少し強かったですが、天気に恵まれ無事故で行う事が出来ました。参加した利用者様から、「直接砂に触れられて良かつた。砂は暖かかったよ。」「故郷の函館の海岸を思い出した。」「今度、水着になつて泳ぎたい。」「釣りしたいなあ。」「こんな美味しいアイス初めてだ。」「海を見てアイスを食べて、夏だね。」等の声が聞かれました。又、手引きで不安定な砂浜を歩かれた入居者様もおり、生活リハビリ的な事も出来ました。

今回のレクは、DTの要素を意識し企画しましたが、利用者様だけではなく職員にとってのDTにもなつたと感じました。

五感で夏を感じよう！

今日は外出レクで海に行つてきます。目的は海を観て、波の音を聴き、潮風に吹かれながら潮の匂いを感じ、砂の感触を素足で感じて貰いたいと思います。

五感で海と夏を感じながら美味しいソフトクリームを味わい職員や他の利用者様との会話を楽しんで貰えたらと思っています。

外出レク後の様子



行
事

介護付有料老人ホームうらら伏古

旅気分で駅弁ランチ

先月6月に開催したレクレーション内容を報告させて頂きます。今回のレク内容は、「旅をしよう！」です。当日の昼食は、職員と一緒に（事前に）駅弁を注文しました。写真で見て注文しましたが、実際にはどの様な内容が届くのか、楽しみにしながらドキドキワクワクな時間を過ごしました。実際に駅弁が届き、駅長役の職員が皆様のもとへ駅弁をお届けします。昼食の前後より、昔の汽車等の映像を見ながら、いつもと違った雰囲気の中、美味しく駅弁をいただきました。（広部 毅）



第85弾

ドラムす子でバチ当たり人間のよもやま話



以前スズメたちでにぎわう我が家を書いたが、今回はその続�다。庭にエサ台を設置して1年以上経ち、今ではスズメやハトが毎日やってきてはエサをついばんで行く。

いつのころからか見慣れない野鳥が来るようになつた。調べてみるとカワラヒワという鳥らしい。そういえばいつも与える野鳥のエサの袋にハトやスズメに混じり描かれていた。一般的な野鳥のだろうが、ふだんはあまり見かけない。スズメと大きさはほぼ同じだが、茶色一色のスズメに対しこちらは全体的に黄褐色で特に羽の一部の黄色が鮮やかだ。このカワラヒワ見た目は美しいがなかなか性格が悪く、エサ台の真ん中を陣取つてはやつてくるスズメたちをその立派な嘴で追い払う。スズメ同士でもよく見る光景だが、独り占めしたいやつはどこかの国の強権的指導者だけではないようだ。「みんなで仲良く」と張り紙をしておいた。

庭のエサ台は窓からやや距離がある。もっと近くで見たい。食卓の窓から至近距離で見えるところにもエサ台を設置してみよう。早速ホーメンセンターでエサ台を購入した。今回のは巣箱タイプのものだ。設置して1ヶ月以上誰もやつてこない。エサも十分置いてあるのに。やはり我々人間の存在が目立ちすぎて警戒しているのだろうとあきらめかけた矢先、ついに第1号のスズメがやつってきた。誰も邪魔するものはいないから、ゆうゆうと時間をかけて思う存分エサをつばんでいる。そーっと窓に近づき様子を観察する。早送りのようないその動作は可愛らしくて見飽きない。

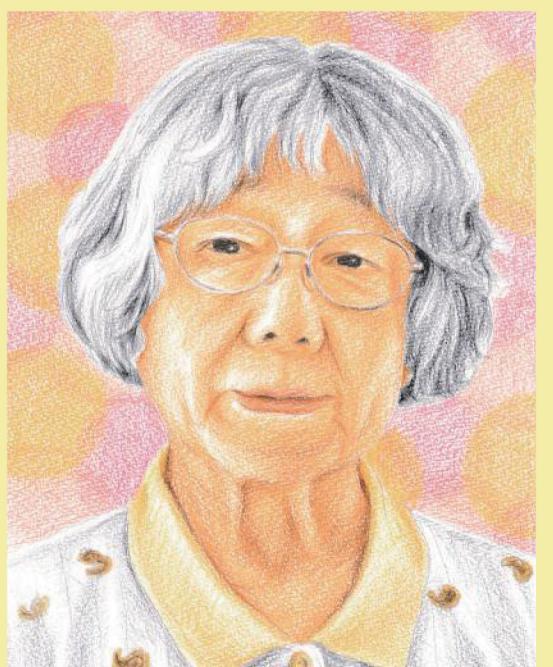
おそらくこのスズメは巣立つばかりの子スズメかも知れない。「小次郎」と名付けた。小次郎はしょっちゅうやつてくるようになつた。満腹になつてエサ台で寝ていることもある。小次郎がオスかメスかははつきりしないのだが、そのうちつがいとなりこの巣箱で巣してほしいものである。

ところでスズメたちはエサをついばむ際、勢いが良すぎるのか地面にたくさんのお糞を落としてしまう。そして台の周りには何故か植えた覚えのない植物が育つていて。エサの内容を調べてみると種以上の種子の中にはそばの実も混じつっていた。育つたのはそばだったようだ。いつか自家製の手打ちそばが食べられるかもしれない。そして新しいエサ台にもぞくぞくと小次郎の仲間が来るようになつた。巣箱の穴が気になつて中をのぞきこむものもいる。エサを追加してやろう。どんどん食べて大きくなれよ。
改めて見てみると野鳥のエサの注意書きには、「生態系を壊すことのないようやり過ぎに注意しましょう」とあった。





人間万事塞翁が馬



似顔絵作:松田 郁美

Mさんは昭和12年に小樽にてお生まれになりました。お父様は自動車の修理工場を経営していました。当時は車を持つていての方の方が珍しい時代。職業柄もあってか、車・サイドカーをお持ちだったそう。ご商売をしていました関係もあり、商店街のある稻穂町で結婚するまで過ごします。戦争が終わった昭和20年、小学生だったMさんは、お父様の職場にお弁当を持っていくのが日課。そこで働く方々にも可愛がってもらつたのです。

小樽緑陵高校商業科に進学したMさん、入学早々悲劇が襲います。骨董品がお好きだったお父様と一緒にトランプを囲んでいたところ、その炎で顔を大やけど。急いでお父様がサイドカーで病院へ急行しました。幸い表面のやけどで済みましたが、学校は3ヶ月ほどお休みをしなければならなかつたそうです。

卒業後、小樽の掘削機械を作る工場に経理として就職。昔のことです、すべてが手書きしなければならなく、大変だつたとのこと。その中でも、ダンスホールに行つたり、上司が美味しいものを食べに連れて行ってくれたり、楽しい思い出も多かつたようです。特に数少なかつた女性職員5~6名とは今現在でも交流があり、COCO東雁来

に転居が決まつた時には、送別会をしてもらつたとのことです。

就職し職場の先輩だつたご主人と交際を開始。(男性が多い職場、ライバルも多かつたご様子) 7年交際し、ついに結婚。夕張出身のご主人の、小樽に住もうと思った思い出の場所、水天宮で式を挙げました。その後、お二人のお子様に恵まれます。お子様が小さいときはMさんも働いていたため、お母様が面倒を見ていらしたとの事です。お子様たちも大きくなり、ご自身で建てた家が手狭になつてきたため、近くの家に引っ越しします。同じ時期に、地域に新しくできたスーパーで、経理として働き始めます。こちらでは覆面調査員的なお仕事まで行い、楽しかつたと伺いました。

ご主人はお仕事の関係で東京、館林、彦根、台湾・長年いろいろな場所を転々としていましたが、ご家族の関係でMさんは小樽で家を守つていました。

ご主人が現役を引退してからは、夫婦二人らずで悠々自適の生活を送られていましたが、令和3年にご主人が他界。これを機に高齢者住宅への住替え検討を始め、令和4年6月、COCO東雁来に入居されました。お二人で楽しかつた思い出は?と伺つたところ、夫婦喧嘩をしたことがない。いつも楽しかつた。大変だつた若い時分より、人生の後半が幸せだつた。とりわけ8年前、自分たちで初めて建てた家に戻つた時にご主人が喜んだお話をして下さいました。今回、この原稿を作成するにあたり、ご主人が遺した「自分史」をお貸しくださいました。「私の宝物」と仰られたのがすごく印象的で、そして素敵なお夫婦だつたであります。(鈴木直文)

2022年 事業所目標

マインド・マップと思い

総務編

イチにカケル!

今日から今からここから始める私の意識改革

総務では、一つ一つのことにこだわり、丁寧に大切にする心で業務にあたり、気づいた瞬間から、行動力やスピードも含めて、意識改革に取り組む。という決意を方針に示しました。マップデザインは、昨年の桜の春から、初夏へ季節が進み、生命力あふれる新緑のエネルギーで、私達もより成長していくイメージです。

小さな葉っぱでも順調に進んでいける穏やかな流れのようなフォロー環境づくりを目指していきます。(尾川真一)



おいらーく

7月行事内容と8月行事予定

令和4年 8月行事予定

令和4年8月行事予定

- 夏祭り

せんり

- どんぐりマネーを稼ごう!
～2週に渡って実施予定です。

うらら伏古

- とくし丸(移動販売)
- 金さん銀さん(訪問理髪店)

えくぼ東雁来式番館

- 6日 花火大会

えくぼ元町&

- 七夕祭り
- 収穫＆漬物作り

えくぼ元町式番館

- 7日はお休み
- 21日 趣味の会
- 毎週 将棋教室

錢函お散歩カフェ

- 焼肉パーティ
- 誕生会
- 訪問理容
- 移動スーパー(とくし丸)

ココ輝楽

令和4年 7月行事内容とイベント風景

令和4年7月行事内容とイベント風景

- 誕生会(大正美女のお二人と実習生)○ 避難訓練



- 20日 夏を感じよう!(3種のゲームを実施)



- 11周年記念食事会 ○ とくし丸 ○ 金さん銀さん



- 12日 海を見て夏を感じる



- 3日 梅シロップ作り(えくぼ) ○ 11日 避難訓練(CoCo元町式番館)
- 21日 第一弾収穫祭(サテえくぼ)



- 3日・17日・31日 趣味の会

- 毎週 将棋教室(大人も子供も参加!)



- 誕生会

- 衣料販売
- 訪問理容



経営方針

『高齢者も障害者も住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域づくり』を目指し、つねに『ご利用者様の立場にたった総合的な介護・福祉企業』のあるべき姿を探求し続けるオーナーワン企業を目指します。